

| | | | |
|---------------|--|---------|-----|
| 会員数 | 40,457 | (前月比) + | 31 |
| 郵送 | 8,933 | (前月比) + | 150 |
| 手配り | 28,053 | (前月比) - | 133 |
| 協同基金到達額 | 2,534,492,000円(8/31現在) [前月比 6,565,000減] | | |
| 協同基金出資者数 | 21,530名(8/31現在) | | |
| いのちを守る助け合い募金額 | 0円(8/1~31) | | |



発行
健康友の会 みみはら
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860

1部30円

9月11日・12日

全国共同組織活動交流集会 in 山梨 **オンライン**

心華やぐ「つながり」の場をたくさんつくろう!



鳳クリニックから会長発表



報告を真剣に(みみはらホール)



子ども食堂から発表



ファミリークリニック視聴会場

「つながり」には、

禁煙に匹敵する長生き効果

「富士のふもとに思いをはせ、コロナ禍に立ち向かい、つながり広げる共同の『わ』をテーマにオンライン開催されました。」

記念講演は、社会学が専門の近藤尚己さんで、テーマは「貧困・格

差による健康問題と共同組織の役割」。「つながり」には禁煙に匹敵する長生き効果、心華やぐ「つながり」の場をたくさんつくること、人も組織も「つながり」が資源になる。そのために共同組織ができることについて

2日目の分科会では、平和を守る取り組み、まちづくり、健康づくり、居場所づくり、共同組織の『わ』を広げる取り組みなど、全国から170の発表がありました。健康友の会みみはらからは4演題を発表しました。

て、実践の実例を上げて話されました。

「山梨勤医協の倒産から再建のたまたかいと教訓」の報告は、病院と債権者の信頼関係を作り出した職員の奮闘に感動。民医連のすばらしさに胸が熱くなりました。

「つながり」をいかして、「安心して住みつづけられる」まちづくりをすすめ 「友の会」結成40周年(2024)に向けて 一歩でも前進する月間にしよう!

2022年度 共同組織拡大強化月間(10月~11月)

新型コロナウイルス感染症の発生から2年10カ月。長引く「コロナ禍」でも、私たちにできることを考え、知恵を集めて工夫して、「共同組織拡大強化月間」に取り組みます。

- ①「友の会」と「みみはらグループ」全職員の力を合わせて、新型コロナの感染拡大を防ぎ、「安心して住み続けられる、ふれあい、支え合いのまちづくり」をすすめます。
- ②「友の会」と「みみはらグループ」の取り組みを

地域に知らせ、新しい仲間をふやして、人とのつながりの輪を広げます。

- ③「健康」「いのち・くらし・人権」に関する学習を、職員・専門スタッフの力を借りてすすめます。
- ④本気で政治と向き合い、「いのち・くらし・人権を守る政治」を実現する月間とします。
- ⑤「耳原鳳クリニック建替え」のスタートを切る月間と位置づけ、運動・企画をすすめます。

聴診器

みみはらは今年3月、予定より一年早く「債務超過」を達成した。貸借対照表など、経営を見る財務諸表の「利益」には事業利益、経常利益、当期利益があり、一般には売上総利益(粗利益)、現場では必要利益というのがある。さらに減価償却費だの、引当金だの、会計の理解にはかなり労力を要する▼1983年の山梨勤医協の倒産と1998年のみみはらの前倒産を経て、民医連は「統一会計基準」を作成し、全職員参加の経営を呼びかけた。この7月、新基準の解説講座が開かれ、翌週の経営交流会ではコロナ禍、民医連、保団連など、医療団体が要望した公的補助金で経営が改善した病院や、全職種あげての発熱患者対応で収益増となった診療所の経験が紹介された▼小学生の算数の授業で、現在義務付けられている3桁「1000」ではなく、4桁ごとに区切る表記法を教わった。「1,234,567,890」円は「12,345,678,901」円となり、「億」「万」が瞬時に読み取れ、位取りの手間がすこし省ける。先輩たちが築いてきた地域との信頼関係、ともの会の叱咤激励、職員のコロナ奮闘の総和で、債務超過が解消できた。次の展開は、みみはら職員の育成だ。そこへの労力と手間は、いとわれない。(和)